



NEWSLETTER

第35号 2002年1月1日発行

歯科保健医療国際協力協議会

事務局：〒341-0003 埼玉県三郷市彦成 3-86 TEL&FAX：048-957-2268

発行：深井穂博 編集：平居夕紀子 現会員数：245名

Japan Association of International Cooperation for Oral Health

私の健康はあなたの健康であり、あなたの健康が私の健康になる

JAICOH (国際歯科保健医療協力協議会) 会長 深井穂博

あけましておめでとうございます。

二十一世紀も二年目を迎えました。今から二〇年以上前の一九七八年九月にソ連のカザフ共和国での国際会議でアルマ・アタ宣言が採択されました。それは、西暦二〇〇〇年に向けて「世界の全ての人々に健康を (Health for all by the year 2000)」というスローガンでした。

一九八六年十一月には、カナダで、「健康は、人々が自らの健康をコントロールし、改善していくプロセスである」としたオタワ憲章のなかで、健康とヘルス・プロモーションの意義が確認されました。

これらは、先進国でも途上国でも世界中の全ての人々に健康が実現するようにとの願いであり、「わたしの健康は、あなたの健康である」という、健康が社会資源であることをうたったものでした。

ところが、二十一世紀を迎えた昨年、世界の現状を見てみると、国家や地域の間での健康格差やその背景にある貧困の問題はとて解決しているようには思われず、先のスローガンは失敗に帰したか、という思い

がありました。

本会の会長をお引き受けしてからのこの二年間、会員の皆さんたちとの交流を続けてきました。

その中で、特に学生など若い世代の人々の国際協力活動への意欲をみると、「わたしの健康はあなたの健康であり、あなたの健康がわたしの健康になる」という理念は、ちゃんと伝わっていたんだな、ということが感じられました。

私たちの世代と直接触れあいながら進めてきた活動や私たち世代が直接伝えたものだけでなく、若い世代の一人一人が、情報を積極的に集め、利用してきた結果とも思えます。

この背景には、世界中の動きが同時進行で確認できるメディアの発達、個人のレベルで世界中の情報を共有し検索でき、時間差を持たずに通信しあえるインターネット、cメール、さらには得た情報を処理するパーソナルコンピュータなどの技術の発展があるでしょう。

しかし、大事なことは、その膨大な情報やそれによって得た体験を現実のものとして実感できて、情報を

受け取るばかりでなくて、自分からも発信することにあります。

それが、「現場での実践」であり、それにかかわる人々との連携など「顔の見える」活動につながっていきます。

今年度の総会でも、JAICOHに求められる役割として、

- 一、国際協力活動を行なっている団体や個人の連絡協議と交流
- 二、各個人や団体の活動への支援
- 三、海外への活動に興味を持ち、これから活動したいと考えている人たちへの支援と情報提供

の三点があることを確認しました。情報を共有し、それを生かしてゆく役割をさらに深めてゆくことができるようになると思います。

同様に、国際協力に関する内外からの、各種の問い合わせや要望について、いつも手元に置いて活用できる「歯科保健医療協力NGOダイレクトリ」の作成が現在進められています。

本年も本会の活動へのご支援、ご協力をよろしく願います。

JAICOH 研修会報告
歯科学生サミット二〇〇一

東京医科歯科大学大学院 阿部 智

「国際保健医療協力にかかわる歯科学生研修会 ―歯科学生サミット二〇〇一―」と題した歯科学生向け研修会が旧年十一月四日、東京医科歯科大学にて開催されました。

「北海道大学歯学部冒險歯科部」、「日本大学松戸歯学部国際保健研究会」、「東京歯科大学国際医療研究会」、「愛知学院大学歯学部国際歯科医療ポランティアサークル」の代表四名、「ペシャワール会」の見立英史さん（九州大学歯学部五年）らがそれぞれの団体の活動内容を発表してくれました。

講師の講演を聞き、その後意見交換をするという従来の研修会のスタイルではなく、学生自ら発表することにより「研修」するという新しいスタイルの研修会を行いました。

参加した歯科学生は約三〇名。最近の学生の国際保健に対する関心の高まりの反映かと思われまます。

一方そんな熱心な、彼らに対しての情報提供、活動支援など、JAICOHの学生支援策はまだ始まったばかり。参加者の期待に充分応えて

いるとは言えない状況で、その必要性を改めて感じた一日でした。

歯科学生サミットに参加して

「ペシャワール会」ホームページ管理担当

見立英史（九州大学歯学部五年）

「ペシャワール会」は九州大学医学部出身の中村哲医師のバキスタン・アフガニスタンにおける医療活動を日本国内で支援するNGOです。主な活動として、無料診療、水源確保計画、「いのちの基金」などを行っています。私も現地病院視察などに参加しました。普段はホームページの管理や会の運営に携わっています。

研修会は、先日のニューヨークにおけるテロへの報復攻撃が始まり、中村医師とペシャワール会についてマスコミでも度々取り上げられ、関心が高まっている中での参加でしたので、テロ以降のアフガニスタンでの活動やホームページ掲載内容、マスコミ報道や、またその実態などについてお話ししました。

また、私自身は歯科ではないボランティア組織に所属している歯科学生ですが、自分の興味・関心のある分野、特技などを生かすことができる場があれば、歯科にこだわる必要もない、という意見も述べました。

皆さんの発言も興味深く聴きました。どの発表もすばらしいもので、国内外で行われている活動の紹介では機会があれば参加したい企画もありました。こういった情報交換の場は貴重で、とても有意義な時間でした。九大歯学部でもこのレベルの話ができれば、と羨ましく思いながら発表を聞いていました。

その九大歯学部の現状ですが、協定校の釜山大学歯学部との研修旅行を年一回相互に行っています。またJICAからの委託で毎年途上国の歯科関係者を招いて研修をしています。口腔外科はインドネシアなどの国々で口唇口蓋裂の治療に関わるなど、海外との交流が盛んで、学生レベルでもネパール歯科医療協力会、東京歯科大国際保健医療研究会主催ミャンマースタディツアーへ参加したりと関心が高まっています。

来年度からはこういう海外研修が学課単位に認められます。まだ個人レベルでの活動ですが、サークル活動にしようという話を進めています。まずはこういった機会を発表できるようなレベルを目指します。

このような私たちの活動を発表する機会、皆さんの発表を聴く機会をいただき、ありがとうございました。

「毎日、毎日……」
「繰り返し、繰り返し」
使いたくなる
ホームケア歯ブラシ



(ホームケア)歯ブラシ
株式会社 永山
0120-118418
FAX 0120-648581

「GC」
はじめての
コンポジット直接充填!
はじめての1液性セルフ
エッチングプライマー!

ユニファルF ■長期的なフッ素の除放。
■ピタシェード9色+AGC、CV。

ユニファルポント

■混和不要、簡便2ステップ。
■接着性モノマー「4-MET」による優れた接着性。

株式会社 ジーシー
DICフリーダイヤル 0120-416480

JAICOH NEWS LETTERは、下記の名社のご協力を得て作成されております

**11か国語対訳
 歯科診療会話集**

田代 吉田けい子

1ページ1会話をとし、約370の会話表現に英語・インドネシア語・中国語・ポルトガル語・タイ語・韓国語・アラビア語・スペイン語・ハンガリー語・ミャンマー語・シンハラ語の訳をつけました。

●A5ワイド414P ●定価(本体3,000円+税) ●送料340円

財団法人 口腔保健協会
 TEL : 03-3947-8301 FAX : 03-3947-8073

私がネパールで活動するきっかけになったのは、三年前の「ネパール歯科医療協力会」の活動を報じた新聞記事でした。

早速メンバーの方に問い合わせ、活動の概略を聞き、研修会を見学し、参加を決めました。

しかしネパールについての知識はなく、英語は話せず、ましてネパール語も話せません。診療に関しても、大学を卒業して二〇年以上過ぎていますし、仕事を続けてはいませんが、二人の子供を育てながらなので、フルタイムで臨床を続けていたわけではありません。不安だらけでした。

でも私はある夢がありました。学生時代、クラブ活動で岩手県の無医村をまわったときに抱いた「技術や経験を身につけ、いつか、無医村で働きたい」という夢です。

活動のお話を聞くうちに、その頃の思いがよみがえり、ネパールの人たちの口腔保健は一体どうなっているんだらう、どんな暮らしぶりなのだろう、見てみたい! と思えてきたのです。

持っていたのは好奇心だけですが、家族の応援と協力会のメンバーに支えられ、今までに三回、ネパールで活動する事ができました。

第一回は診療や検診を担当しましたが、二回目、三回目は口腔保健専門家養成コースを担当し、学校の先生を対象に歯科検診トレーニングを始めました。

ネパールでも都市化に伴い、子供たちに着が増えている現状です。現地の人たちに自分たちで「問題発見・問題解決」する能力をつけてもらうためです。

今回の学会では二回目三回目的訪問時における活動について、以下のような報告を行いました。

一年目に検診の基礎トレーニングを行ない、学校歯科保健活動として、実際の検診にあたっての課題を与え、二年目にその評価をしました。

一年目の検診実習では、ほとんどの受講生が楽しそうにかつ積極的にコースに参加しており、相互に実習する態度がみられました。

二年目の評価の際には、年間課題はほぼ達成され、検診に大いに関心があり、やる気もある事がわかりました。しかし、検診技術や理解度に個人差が見られました。

検診技術の定着度は低く、今後個々の現状にあったカリキュラムの検討が必要であり、また日本人が活動していない時でも彼らの得た知識を維持する方策も必要であると考えられました。

急激な都市化に伴う、虫歯の増加に、私が見た三〇年前の岩手県の無医村を思い出します。あの頃若い母親は、現金収入を得るため働きに出、家ではお年寄りが留守番していました。村の駄菓子屋さんには子供たちが集まり、孫を預かるおばあちゃんも、「孫は手作りのおまんじゅうより駄菓子屋のお菓子を喜ぶ」と嘆いていました。

現在のネパールはそれによく似た状況です。人口二〇〇〇万人に対して、歯科医は二〇〇人しかいません。虫歯になったらシャーマン(祈祷師)の所に行き、薬草をもらうか、麻酔なしで抜いてもらうしかありません。しかし文化や宗教の違いがあるので日本のやり方を押し付けるわけにはいきません。

そこで、ネパールの人々が「自分たちの健康は自分たちで守る」という意識を持ち、自分たちの口腔保健の現状を理解できるよう、情報を提供し、これ以上悪い方向へ行かない

JAICOH NEWS LETTERは、下記の各社のご協力を得て作成されております

世界の
歯科医療に貢献する

歯は幸せへの序章

きれいにそろった歯は、まさに健康へのゲートであり、幸福のシンボルです。いくつになっても、さわやかな笑顔で人生を楽しく過ごしていただきたい。

歯科医療に関わるものとして、松風の究極の目標はそこにあります。

株式会社 松風

〒100-0005 東京都千代田区千代田1-1-1 松風ビル
TEL:03-5561-1111 FAX:03-5561-1112

むし歯の新しい処置と予防
全4巻

目次 長崎大学歯学部 飯沼洋一

- Ⅰ.むし歯ってどうしてできるの?
- 脱灰と再石灰化のはなし -
- Ⅱ.おうちでできるむし歯予防
- 脱灰をふせぐセルフケア -
- Ⅲ.むし歯のはじまり(脱灰)の処置
- プロフェッショナルケア -
- Ⅳ.上手につかってむし歯予防
- 再石灰化をたすける物質 -

各巻定価(本体12,000円+税)
4巻セット価格(本体45,000円+税)

Dental 株式会社 **デンタルダイヤモンド社**
〒101-8354 東京都千代田区外神田4-13-13 銀町デンタルビル
TEL:03-5219-2571 FAX:03-5219-3702 http://www.dental-diamond.co.jp

精度と信頼
PRECISION & RELIABILITY

**ナカニシの製品は、
世界120ヶ国以上で
愛用されています。**

NSK 株式会社 **ナカニシ**

〒322-8666 栃木県鹿沼市下日向700
TEL:0289-64-3380 FAX:0289-62-5836
http://www.nsk-nekanishi.co.jp

ISO 9001
ISO 13001

ようにするにはどうすればよいか、という「健康教育」を進めています。偶然出会ったネパールですが、ベテラン隊員や若い人たちと一緒に、これからも広い意味での国際歯科保健のために、活動を続けていきたいと思っています。

国際協力の現場から

魚を与えるよりつり方を教えたい

南太平洋医療隊 時田信久

私は一〇年以上国際協力の医療活動をしています。八日間仕事休んで現地に行っても、実際に医療活動が行える日は、三日から四日というのが現場の状況です。

私が尋ねた所は無医島でしたから、私たちがいない、他の日はどうしているのかと思うと気が重くなります。そんな状況なので、いつも島民は首を長くして待っていてくれます。

日本政府はその国に五億円の援助で歯科・歯科の設備をしました。機械は最高でしたが使用するのはいわゆるだけなので年に四日だけ。一年後にはコンプレッサーが壊れ動きませんでした。

五億円あれば何人も若者を日本に留学させることが出来、歯科医や

衛生士・看護婦として育成することが出来ます。卒業証書があれば活躍できます。日本は歯科医師過剰で、各歯科大学は学生を減らしているわけですから、逆に一石二鳥と言えるのではないかと思います。彼らが歯科医になって自分の国に帰った時には、きつと毎日活躍するでしょう。

「魚を与える」のではなく「魚の釣り方を教える」のが一番いいボランティアではないでしょうか。

そんな事を考えていた矢先トンガ唯一の王立病院の歯科医シシリア先生(Ms.Silia FITTA)が多くの重症患者をかかえ大変困っているということをお聞きしました。トンガでは歯科セラピストというのは何人かいますが、口腔外科は歯科大を卒業した歯科医が担当します。何とかシシリア先生を留学させることは出来ないのかと考えたのですが、私たち「南太平洋医療隊」は発足したばかりで資金的にもそこまでのことは出来ません。各方面にお願いしたり、手をつくしていたところ、日大松戸歯学部病理学教室のご好意で留学することが出来るようになりました。

そして我々の会からも援助し、メンバーの一人である川口市の河村先生宅へのホームステイも決まりました。

た。現在シシリア先生は、水曜日は鶴見大学に口腔外科の見学に通い、週に一度歯科医院で英会話を教えて、充実した毎日を送っています。それに、二〇〇一年の四月から給料をいただけるようになり、日大松戸歯学部に感謝しております。

シシリア先生は松戸歯学部でも人気者で、先生との交流がきっかけになったのか、松戸歯学部で国際保健研究会というのができ、今回九月には、我々のトンガでの活動にも四名が参加し活発な活動となりました。シシリア先生も夏休みで帰国していたのでいろんな意味で助けてくれました。九八年に活動を始めた頃と比べ、病院スタッフも協力的で満足いくものでした。大事なことは、お互いその国の文化を理解した上で交流し、親しくなれば、それが一番幸せなことではないでしょうか。だれも皆話してみるといい人ばかりで、正しく交流していれば戦争なんか起こらないと思います。

事務局通信
二〇〇一年度JAICOH事業内容

国際歯科保健医療協力に関する研修会開催

①歯科保健医療国際協力ワークショップ

スーパーボンドは、
1982年に発売以来
基本組成を全く
変えておりません。

矯正に、補綴物の装着に
動揺歯の固定に
支台築造に、垂直破折歯の保存に
生活歯牙質切削面の保護に

信頼と実績の
多目的歯科用接着材料

スーパーボンド

サンメディカル株式会社
フリーダイヤル：0120-418-303
URL: <http://tslhei.co.jp/sunmedical/>

②学生研修・フォーラム二〇〇一
シーズプロジェクト
海外での国際歯科保健医療協力活動
小プロジェクトへの助成
広報活動

①ニュースレターの発行(年四回)

②JAICOHホームページの強化

③「歯科保健医療協力NGOダイレ
クトリー二〇〇一」の作成
事務局移転

四月、埼玉県に事務局を移転。その
関係で会計担当理事として小原眞和
理事の追加をご承認。

JAICOH郵便(振替)口座
口座番号：00140-4-36465
郵便口座名：
歯科保健医療国際協力協議会

小原眞和(おはらまさかず)